

## 「性の多様性」の授業について

### 1 はじめに

小学校5年生で性の多様性についての授業をすることになりました。倉敷教育委員会が平成30年3月に発行した「性の多様性を認め合う 児童生徒の育成Ⅱ」を参考に授業を実施することにしました。ここでは、性の捉え方を「身体の性(生物学上の性)」「心の性(性自認)」「社会的な性(性表現・性役割)」「好きになる性(性的指向)」と4つに整理し、4つのとびらと表現しています。5年生にとっての分かりやすさを考え、「身体の性」を「体の性」に、「社会的な性」を「表現の性」と言い換えました。

なお、授業は、2022年1月17日に〇〇市立〇〇小学校5年生20名のクラスで実施しました。

### 2 授業のねらい

授業のねらいは、性には色々な性があることを知ることです。色々な性があるということは色々な人がいるということ、色々な人がいるということは素晴らしいことであると伝えたい。本時では、性の多様性を知ることがねらいとしているので、LGBTQとか性的マイノリティとかいった難しい言葉は使いませんでした。

### 3 授業展開

導入 LGBTの有名人の紹介(パワーポイントを使用)

展開1

発問「男の人ってどんな人？ 女の人ってどんな人？」 ペアで考え、全体で交流した。

性について4つのとびらについて理解する。(パワーポイントを使用)

課題 男らしい、女らしいについて考えよう。(ワークシートを使用)

着る服の色、服装(ズボン、スカート等)、行動・しぐさ(すぐに暴力をふるう、化粧等)、仕事班で考え、全体で交流した。

※表現の性を課題に取り上げたのは、性の多様性について、身近で考えやすいからである。

※男らしい、女らしいというのは、人によって感じ方が違うこと

※男らしい、女らしいというより、自分らしさを表現しているのだと思うと伝えた。

展開2

導入で使用した有名人を使って、4つの性の組み合わせを紹介した。

4つの性について、その組み合わせを示し、性の多様性を気づかせた。

改めて、色々な性があり色々な人がいること、色々な人がいて当然であること、色々な人がいるから素晴らしいということを強調した。

自分自身(皆さん自身)のことに次のように伝えた。

5年生のみなさんは、心がこれから発達していくことから、自分の性(心の性、好きになる性、表現の性)がどこにあるか、まだ決める必要はない。それでも、苦しくなったら、誰かに相談する。

### 4 ワークシート

次ページ

## 性のとびらを開こう

( )年( )組・名前( )

自分の性を知ろう (○をつけなくていいです。)

体の性	男	女	
心の性	男	—————	女 どちらでもない
好きになる性	男	—————	女 どちらでもない
表現の性	男らしいのが好き	—————	女らしいのが好き どちらでもない

表現の性について考えよう。(班で解決しましょう)

	男らしい 男っぽい	女らしい 女っぽい
着る服の色 赤、黄色、青、紫、だいたい色、緑、 ピンク、黄緑、空色、黒、白、グレー		
服装(ズボン、スカート、半ズボン、ショ ートパンツ、Tシャツ、トレーナーなど)		
行動、しぐさ (泣きやすい、すぐに暴力をふるう、化 粧、ピアス)		
仕事		

※表現の性(男らしい、女らしい)は人によって感じ方が違う。

○いろいろな人がいる。いろいろな人がいて当然。いろいろな人がいるから素晴らしい。

○皆さんの心はこれから発達していきます。心の性、表現の性、好きになる性がどこにあるか、まだ決める必要はありません。でも、苦しくなったら、誰かに相談してね。

授業を受けて、印象に残ったこと、考えたこと、思ったことを書きましょう。

-----

-----

## 5 成果と課題

### 【成果】

- LGBTQをカミングアウトした有名人を紹介したことで、LGBTQが身近に感じられたのではないかと思います。
- 紹介した有名人が4つのとびらのどこにあたるかを紹介したり、すべての組み合わせを示したことにより、性の多様性が感じられたと思う。
- 担任の先生からは、班で話し合う活動があつて良かったとコメントをいただいた。
- 表現の性について班で考えさせ、全体で交流したことは、表現の性が人によって感じ方が違うことを実感できたと思う。
- 授業の進め方については反省すべきところはあつたが、概ね本時のねらいは達成できた。

### 【課題】

- 授業の導入では、LGBTQの有名人の紹介から始めたが、「男ってどんな人？ 女ってどんな人？」から始めるべきだった。
- ワークシートには、「性のものさし」を掲載したが、自分のことを知られたくないと思っている人がいるかも知れないという配慮から、「印はつけなくて良い」と記載したものの、本時では扱わなかった。一方、自分の性について考えてほしいという願いから、ワークシートには掲載した。このことをどう扱うかが検討課題である。
- パワーポイントにおける性の表現にずれがあつた。男性女性、男女が並記されていた。
- 伝えたいことを熱く語るべきところを、パワーポイントで示された文字を読んだだけとなった。
- ペアでの交流した後、全体交流を行ったが指名しすぎた。だれた感じになった。
- 学習を終えての振り返りを書く用紙を担当が準備していたことを知らなかった。
- 時間的には、振り返りを書く時間がなかった。

## 6 授業を終えて、感じたこと、考えたこと

- 私が思っている以上に、男だから、女だからという区別はないように感じた。LGBTQをカミングアウトした有名人が活躍したり、アニメなどでLGBTQのキャラクターが登場したりすることが要因であろう。
- 男らしい仕事・女らしい仕事という認識は少なくなっているが、現実的には、女性の活躍はまだまだ少ない。男らしい、女らしいという認識とは別の問題である。
- 生活を豊かにする違いはあつてよい違いである。同じにする必要はない。その違いにより、生活がしにくくなる、生きにくくなることは問題である。
- そのように考えるなら、トイレのピクトグラムの色はどうすればよいだろうか。  
トイレのピクトグラムに男性用は青色、女性用は赤色が使用されている。ピクトグラムの形を変えずに、色だけを替えて実験したTV番組を見たことがある。色を変えるだけであるが、迷うことなく、間違つたトイレに入る人が少なからずいた。定着しているトイレのピクトグラムの色は変える必要はないと思える。しかし、「男は青、女は赤」という固定概念が、気になって仕方がないとか、不快に思うとか、という人がいるとすれば、やはり問題であろう。そもそも、トイレのピクトグラムの色について、気になって仕方がないとか、不快に思うとかいう人はいるのだろうか。いろいろと考えさせられてしまいました。

## 7 児童の感想

授業を受けての感想を一部紹介します。

- 性のことを勉強して、人それぞれがちがって、今は、どちらも同じであたりまえなのが分かりました。男女

関係なく、自分が思うことでまちがえはないから、この勉強してよかったと思いました。今は、おかしいことはなく、仕事も、しぐさや行動、服装、色など、自分のことで、おかしいことはないんだと思いました。私がこの勉強して大切だと思ったことは、人それぞれがちがうことはあたりまえ、ということだと思いました。性の多様性のことを勉強して、いままで知らなかったことをもっとくわしくしれたので、よかったです。とても楽しかったです。

○今日の授業で性の4つのとびらの「身体の性」「心の性」「好きになる性」「表現の性」を知れて良かったです。○○さんや○○さんのように性別は男でも表現が女の人などもいるんだなと思いました。自分は性別は男で心も男で好きになる性は女で表現も女なので少し○○さんや○○さんと似ているのかなと思いました。僕は自分の言い方は「私」だけど自分は男だと思っているので少し不思議だなと思いました。ぼくは決して性について差別をしない人が増えると良いなと思ったし、自分も差別をしない人になれると良いなと思いました。このような学習をもう一度して性についてのことをもっと分かったら良いと思いました。

○私は、男だから女だからではなく、男でも女でもいいと思いました。性の多様性で、世界中の人が自分らしく生きることが大切です。人が自分らしく生きることが大切です。授業を受けて、○○さんや○○さんは、分かっていたけど、○○や○○は知りませんでした。色・服装・行動・しぐさ・仕事で判断せず、見た目だけでは判断できないと分かりました。LGBTは、色々意味があって自分を自分らしく表してくれる言葉だと考えました。そして、男同士、女同士かんけいなく、平和な世の中になってほしいです。LGBTを世界中に広めてLGBTが当たり前にして、みんなが広々と羽を伸ばして生きていけるようになってほしいです。自分ももしLGBTの中の人になっても、自分がそれでいいと思うならいいと思いました。

○性には、体の性、心の性、好きになる性、表現の性の4つの扉があることを初めて知りました。男らしい女らしいものは、その人の考えて違ってくることがあるから、何も決まっていなくても分かりました。女性男性で体型が違ったり、身長が違ったりするイメージもあるけれど、色々な人がいて当然だから、素晴らしいと思ってもいいのだなと思いました。いろいろな人がいたりすることもあったり、性は決める必要がないということを知りました。性の多様性の授業で、人それぞれの性があると知って、「体の性は男でも心の性は女ということがあるのだな。」と思いました。

○今の時代では、自分が女だと思っても、体が男だったり、体が女でも自分は男だと思っている人がいて、みんなが同じ性ではなく、自分の性が決まっていなくて、どちらの性でもない人もいるから、本当に色々な人がいることが分かりました。ピンクだから女の人、青だから男の人、という決めつけられていることは色々な人がいる中の時代では、勝手に決めつけてはいけないなとも思いました。私が今日初めて知ったのは、男の人でも化粧をすることです。色々な人がいる中でも男の人が化粧をすることは初めて知ったので、とても印象に残ったし、知れて良かったと思いました。